

柚子の木だより

豊島区立教育センター
柚子の木教室 No59
令和7年9月1日

豊かな人間関係を築くために

人間は、社会を作って生活しています。そのため、他人と全くかかわらないで生活することはできません。もちろん人によってそのかかわり方はことなります。例えば、旅行先のふらっと寄ったお店の店員さんとなら、それほど親しくする必要はないかもしれません。しかし、地元の商店で度々利用するお店の店員さんとは良い関係を築いていた方が良いような気がします。同じように、学校や会社の人たちとは良い関係や豊かな関係が築けたほうが、遊びも仕事もスムーズにできそうだし、生活も楽しくなりそうです。

では、どの様にしたらそうした人たちと豊かな人間関係が築けるでしょう。まず土台となるのは、相手が自分のことを信頼してくれることで、自分も相手のことを信頼できることです。しかし、この信頼を築くことは簡単なことではありません。私は信頼できる人間なので信頼してくださいと口で言っても、誰も信頼してくれないでしょう。日々のかかわりの中で信頼してもらえないのです。そもそも信頼できるかどうかは、相手が決めることです。



その信頼を築くヒントになる考え方があったので紹介します。

1 小さな親切をする

人間関係において小さいことは大きいこと。ほんのちょっとした親切を相手にしよう。



2 約束しそれを守る

小さな義務や約束は必ず守る。やるといったことはやるし、約束は小さめにしてそれを果たすために全力を尽くす。それができなくなったら、その理由をきちんと伝える。そして、約束が果たせそうにないことを約束しないことも大切です。

3 その場にはいない人に誠実になる

その場にはいない人に誠実になるということは、その人のいないところで悪口・批判・陰口を言わないことです。

4 許す

人を許せるようになるまでは、あなたは被害者であり続けるしかありません。憎んでいる人はいませんか。許せない人はいませんか。もしいるなら今すぐ許してあげましょう。

5 人の話に耳を傾ける

人のためにできる最大のことは、その人の話を聞くことです。人の話をほとんどの人が聞かないからです。話を聞いてあげることは、話をした人の心の傷を癒す力もあります。

6 見通しをはっきりさせる

できること、できないことをはっきりさせましょう。相手のあいまいな言葉を誤解してその気になってしまい、最後に傷ついてしまう人はたくさんいます。人間には他人を喜ばせたいという気持ちがあります。その結果できないことに期待をもたせてしまうことが良くないのです。

7 あやまる

反抗的になってしまったとき「ごめんなさい」「すみません」と素直にあやまる言葉を言えるかどうか大切です。間違いを認め、謙虚に事実を受け入れることはとても難しいからです。できるだけ早くあやまることを学ぶべきです。



第二回進路学習について

下記の通り、第二回進路学習を行います。今回の進路学習は「都立チャレンジスクール」について学習します。特に、出願の時に願書と一緒に提出する「志願申告書」の書き方について詳しく学習します。都立チャレンジスクール受検を考えている人は出席してください。

- 1 日時 9月17日(水) 13時
- 2 会場 第二研修室(予定)

柚子の木教室の閉室のお知らせ

9月8日(月)～9日(火)まで宿泊行事「ゆずスマイル」が実施されます。それに伴い柚子の木教室はその2日間閉室になります。

